

第6回 芦屋市上下水道事業経営審議会 会議録（要旨）

日 時	令和4年2月5日（土） 9：30～10：20
会 場	市役所南館4階 大会議室
出席者	<p>会 長 西尾宇一郎 会長職務代理 藤本光司 委 員 東 琢，榊原和穂，浅田信二，伊東典子，小林紀代子， 酒井克子，御手洗裕己 事務局 上下水道部 阪元靖司 水道管理課 平野雅之，山根和之，亀井容平，前田健太， 蓮池友希 水道業務課 夏川龍也 水道工務課 藤本祥行，大村麻雄 下水道課 宮本博嗣，山東千紗，鵜飼雅浩 下水処理場 北村俊博</p>
会議の公表	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <非公開・部分公開とした場合の理由></p>
傍 聴 者	0人

会長から答申(案)の説明があり，委員からは答申(案)の内容については特に意見がなかったものの，事務局への質疑応答が行われた。

審議内容については以下のとおりである。

I 審議経緯

1 会長あいさつ

今日は，答申(案)の審議でございます。今から中身をお話しさせていただきますのですが，基本的に，前回踏襲でこれまでの形にまとめさせていただきました。資料の答申(案)，審議経過，諮問，委員名簿をセットにして答申(案)として提出することになると思います。

それでは，最初のところから私の方で順に読んでいって趣旨の説明をしたいと思います。

2 水道事業及び下水道事業の答申（案）について

(会 長)

答申（案）の内容をこれまでの会議を振り返りながらの趣旨説明（省略）

(会 長)

答申（案）についてご意見を頂きたいと思います。

【委員からの質問・回答】

(委 員)

①水道・鉛製給水管の対策について

娘の同級生が東芦屋町に住んでおります。水道管が壊れて修理しようと思つたら、ここの配管は芦屋市のもので芦屋市に修理してもらわないといけないと言われて、修理したようなんですが、東芦屋町はまだ鉛の水道管が通っているということで、東芦屋町の配管はどういうようになっているかということ。鉛の配管でも大丈夫なのかということをお聞きしたいです。

②水道・料金回収率について

平成30年度から料金回収率が100%を上回っていることを説明頂いたのですが、平成29年度以前はどういう考え方で回収されていたのかを少しお聞きしたいです。

③水道・情報発信とコミュニケーションについて

90歳の母が毎日2リットルの水を飲んだら認知症が治ったという話を聞いて、私もミネラルウォーターを買って水を飲む努力をしていますが、ペットボトルのシールを読んだら、「安全でおいしい水を子供たちの世代に受け継ぐために水源の豊かな自然環境を守り育てています。また子供たちに水の大切さを伝える水育も展開、水の未来を見つめています」とラベルに書いてありました。答申（案）の（5）の指摘事項に、市民に関心を持ってもらうための施策が必要と書いてあるのですが、水というのは市民の健康と安全を考えた大切な事業ですので、子供たちと老人に水に関心を持ってもらえるような、そういう人と人と接する接点がつくれる活動をされてはどうかと提案させていただきます。

④水道・浄水場（奥山浄水場）廃止の可否について

平成7年の阪神・淡路大震災を経験している人間として、近くの方が家に井戸があるからというので近隣の人に水を提供くださったこともあり、芦屋独自の水源が無くなってしまうのは怖いんです。なくしてしまったら元には戻らない。維持はお金が掛かるし大変かもしれませんが、精道村が出来たときに芦屋の市民のためにつくった浄水場だと思いますので、維持を是非お願いしたいというのが希望です。

(水道工務課長)

①について、東芦屋町の鉛管についてのご説明ですけれども、芦屋市は道路沿いにある給水管の止水栓までの鉛管については解消されていると、止水栓から家屋側につきましては古い住宅等ですと鉛管が残っている箇所もございます。そちらについては漏水などあれば修繕して頂くというのが前提です。水質的なもの

のですが、鉛管を使っています管路では、よく言われていますのが、朝一番にバケツ一杯程度の水を出して頂くと滞留する鉛成分が抜けると、朝一の洗濯で使って頂くということで、水質的には問題ないと報道されています。また、後ほど詳しくお聞きして良いでしょうか。

(水道管理課長)

②について、平成29年度以前の料金回収率が100%を下回っていたということですが、特別利益として兵庫県住宅供給公社から1億1,900万円の水利負担金収入がありましたので、それで何とか賄っていたということをごさいます。本来の水道事業としての収益で賄えていなかったけれども、特別利益で賄っていました。また、その間、平成27年度に水道お客様センターを民間委託で開設するなど経営努力もしながら、ようやく平成30年度には料金回収率が正常になったということをごさいます。

③について、水のアピール、水育ということですがけれども、現在、コロナ禍でなかなか出来ていないですけれども、通常であれば、小学校4年生の社会見学を毎年行っています。奥山浄水場の見学によって水の安全、重要性なども説明させて頂いています。それと併せて、出前講座という制度で、要望頂ければ出向いてお話しさせて頂くのですけれども、例を挙げて言いますと福祉施設や町内会に出向いて説明したり、あるいは80周年記念事業として3年ほど前には、全小学校に出向いて体育館で説明させて頂いたり、そういったことをしていたのですが、コロナ禍で出来ていないのが現状です。また取り組んでいきたいと思っております。

(委員)

③について、小学校に出向いて今まで取り組んでくださっていたことを聞いて、これは嬉しいなど、孫がこちらで頂いたクリヤーファイルを喜んでいたので、ああいうものを子供たちに配ると、水に関する興味も少しずつ湧くかなと思いますので、コロナ禍が収まりましたら是非とも、幼稚園は無理でしょうか。

(水道管理課長)

幼稚園のところまでは考えていないんですけれども、イベントの一つとして芦屋のペットボトルの水を是非味わってくださいということで、水の週間とか、そういった時期にお配りしています。これは幼稚園の方にも、広く一般の市民の方にお配りしています。

(水道工務課長)

①について、先ほどの鉛管について説明が不足しておりました。芦屋市では、給水管の止水栓までは解消したと言っていたのですけれども、そこから先のメー

ターまでの管につきましては、口径40mmまでの給水管につきましては、市の公費負担ということで、解消を行っております。そちらにつきましても例えば自然漏水があった場合につきましては市に連絡頂ければ、公費負担で行いますが、メーターからお家の中に入る分につきましては、個人様の範囲になりますので、そちらの方はご負担いただいている状況でございます。

(会 長)

・今のところで、答申書に付け加えるということはよろしいですね。はい。ありがとうございます。

(上下水道部長)

④について、奥山浄水場につきましては、何年先まで保証できるんだという断定的なお話を私の立場でさせて頂くのは難しいところではありますが、阪神・淡路大震災を経験した市町村であるがゆえに、奥山浄水場の必要性は、現時点では必要なものであるという認識の上に立っておりますので、今後の何かのタイミング、大掛かりな建替えが必要になる時期であるとか、とてつもなく日本国内の経済状況が悪くなったり、どのような要因かは分かりませんが、そういったことがない限りは、現時点においては、維持をしていくというのが、今の私どもの考え方でございますので、それが何年先までと言われたところ、断定的には申し上げることが出来ませんが、現状ではそのように考えているという認識でいて頂いて結構かなと思います。

(委 員)

④について、奥山浄水場が阪神・淡路大震災の時には、とっても貴重な水源になったという教訓を基に、市民の方に、現状では奥山浄水場の維持が難しいという時に、芦屋市民に打診というか寄付を集めて、希望としては、そういう大事なものは残してほしいという声を聞いて頂きたいなと今思ったんですが。

(上下水道部長)

④について、おっしゃる通りと思います。ただ、現状、奥山浄水場の水の供給されているエリアを考えた時に、如何に広範囲の市民の方々にまで供給できるのかまでを考えないと、水に限らず、例えば、ごみの問題であればパイプラインの問題とかあるんですが、あれも臨港線からの南側の一部の地域の方の問題で、そこから以北の方はパイプライン使っていないしということもあり、市民全体の問題として、幾らかずつでも皆さんに分配できるような方策があれば、市全体の問題としてとらえて頂くことも可能と思うのですが、そのあたりについて今後検討しないといけないと思いますし、それに向けての創意工夫はしないといけないと感じるところでございます。

(委員)

④について、確かに奥山浄水場は規模も小さく、一部のエリアにしか供給できていないことは承知の上なのですが、阪神・淡路大震災の時にどういう貢献が出来たのか、今聞けたら嬉しいと思ったんですが。

(水道工務課長)

④について、阪神・淡路大震災の時には、奥山浄水場もやはり被害を受けまして、ろ過するろ過池の方にクラックが入って、修繕工事も入っております。実質、2年間は緩速ろ過が出来なかったということなんですけれども、その際には、阪神水道からの用水供給がありましたので、浄水池に貯めまして、給水車に入れたりとかして対応していたと聞いております。

(委員)

④について、ありがとうございます。わかりました。

休憩

(会長)

ほかにご意見とかありますでしょうか。よろしいですか。

昨年の4月から審議会のご協力いただきまして、ありがとうございます。

委員の皆さんのご協力で、今日、答申案の審議までさせて頂きました。

それでは、これを持ちまして閉会させて頂きます。

ありがとうございました。

3 その他

(水道管理課長)

- ・今後のスケジュールについて、お話しさせて頂きます。
- ・本日、ご審議頂きました答申書の市長への報告につきましては、予定では3月15日に、皆様を代表いたしまして西尾会長にお願いしたいと思っております。委員の皆様には、市長への報告を答申書と送付させて頂く手続きで進めさせて頂きたいと思っております。
- ・芦屋市水道ビジョン及び芦屋市水道事業経営戦略、芦屋市下水道ビジョン及び下水道事業経営戦略につきましては、委員の皆様の意見を踏まえまして、再度内容を精査、点検致しまして完成させたいと思っております。
- ・最後に事務局を代表いたしまして上下水道部長から挨拶をさせて頂きます。

(上下水道部長)

- ・本来でございましたら市長が直接お礼のご挨拶をさせて頂くべきところではございますが、他の公務の関係上、本日出席することが出来ておりませんので、市長からあいさつ文をお預かりしておりますので、私の方から代読させて頂きたいと思います。

【市長 あいさつ文】

昨年の4月から始まりました芦屋市上下水道事業経営審議会のために、委員の皆様にはお忙しい中、書面開催も含め6回もお集まりいただきまして、ありがとうございました。

本市の水道事業及び下水道事業を今後経営していくうえで、皆様から貴重なご意見を頂いたこと、たいへん感謝申し上げます。

配布資料は専門用語や数値が多いため、たいへんご苦勞をお掛けしたかと思えます。審議会の中でも課題として挙げられておりましたが、市民の方に関心を持っていただけるよう、わかりやすさ見やすさを心がけた情報発信を行いながら、水道事業及び下水道事業の運営に取り組むたいと考えております。上下水道は市民生活にはなくてはならないライフラインです。平常時だけでなく災害時でもしっかり対応できるよう職員一同、務めてまいりますので、これからもご支援のほどよろしくお願い致します。

以上でございます。皆さん、ありがとうございました。

以 上

会長
